



研究部会報告

●理財工学●

・第8回

日時：1月23日(金) 19:00~21:00

出席者：18名

場所：東京工業大学南4号館6F

テーマと講師：

(1)「証券取引におけるインターネットの活用」

大崎貞和(野村総合研究所)

インターネットを用いた証券取引について、米国・日本の事例を紹介した。単に既存の証券業務にインターネットを利用したものから、インターネット上でファイナンスを行うものまで様々な形態が存在し、いずれも急速に普及しているが、規制や投資環境をめぐる問題も存在することも指摘した。

(2)「銀行業時価会計の情報開示の観点からの検証」

富田竜一(朝日監査法人)

平成9年度から導入された時価会計について、その概要、銀行業務における時価会計、情報開示面の効果、について論じた。従来の取得原価会計と比較して、業務実体を正しく反映する、恣意性を排除できるなどの効果があることを説明した。

●イノベーション●

・第21回

日時：2月7日(土) 14:00~17:00

出席者：7名

場所：中央区新富 ワークス・サポートセンター

テーマと講師：「町人考見録」(商家破産没落の研究)

上田 亀之助

隆々たる商売繁盛の最中に三井家三代目の三井高房は商家破産没落のケーススタディを真剣に行っています。まさに「治に居て乱を忘れず」の誠に真摯な経営態度です。それ以来300年、三井グループは着々とその業績を積み重ね、景気が良くとも奢るようなことなく、現在の世界のトップレベルの大をなしています。

●待ち行列●

・第133回

日時：2月21日(土) 14:00~16:30

出席者：27名

場所：東京工業大学 本館1-94号室

テーマと講師：

(1)「到着・サービスが相型分布に従う多段直列型待ち行列の漸近解析」

藤本 衡(東京工業大学)

上記待ち行列モデルの系内容数過程の無限小生成行列は、一方の待ち行列の系内容数をレベルに取ることでブロック3重対角行列になる。ただし、各ブロックが加算個の次元を持つため、有限次元での結果をそのまま適用することはできない。報告では、この無限小生成行列に関する性質をもとに待ち行列長分布の裾が幾何的に減少することを示した。

(2)「A two-queue cyclic-service system with mixed K-limited and 1-limited discipline: An application to F-net server performance」

大原 久樹(NTT 研究所)

ファックス網の大量同報では、送達時間を保証するクラスとそうでないクラスを設けており、その処理機構は前者をK-制限式(一度に最大のK個連続して処理)、後者を1-制限式で処理する2ノード並列待ち行列モデルで表現される。報告では、K-制限式をBernoulli処理(ある確率で連続して処理)に置き換え、分解近似により平均待ち時間を求めた。

●平成10年度会費納入のお願い(事務局)

平成10年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、9年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成10年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。